

平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人

まちづくり機構ユマニテさが

1 事業の成果修正

平成29年度は、中心市街地整備推進機構として発足以来、当法人の基本方針としている

(1) 住む人を増やす (2) 来る人を増やす (3) まちづくりに参画する人を増やす (4) 活動の強化、に沿って事業を実施した。

「住む人を増やす」に関しては、当機構がサブリース事業として平成26年4月から実施している「さがよかこの家」について、本年度は男女混住、社会人も加えるという形に踏み切ったが、入居者間のコミュニケーションが良好で順調に推移した。

「来る人を増やす」については、空き店舗対策事業と賑わいづくりイベント事業を2つの柱に行なった。

空き店舗対策事業のうち「戦略的商機能等集積支援事業」においては、3件の目標に対し3件（ドリアレストラン、貸衣装店、フラダンス教室）と目標を達成した。「商業者育成事業」に関しては、リンパマッサージ店、古着屋、つまみ細工アクセサリー店の3店舗がCASTに入店し、一年間の実践トレーニングを経、すべて中心市街地に本格独立を果たした。

次に賑わいづくりイベントについては、大枠は昨年イベントを踏襲したが、バルーンサテライトや佐賀城下ひなまつり、まちなか賑わいづくり等の大型イベントにおいて新たな取組みにチャレンジし、成果を得た。

施設管理に関しては、「肥前さが幕末維新博覧会」の事業に伴って、わいわい!!コンテナ2の一部を設置場所の移動、改修する等により、年末からの業務に多少の影響が出た。また一昨年から利用者が目に見えて増大した656広場に関しては、本年も順調な伸びを見せた。

「まちづくりに参画する人を増やす」については、

クリークネットの動きが活発化しており、他の市民団体との連携も進んだ。

佐賀大学や西九州大学の活動も「知の拠点事業」を軸に進展し、また佐賀大学の芸術地域デザイン学部の活動はフィールドワークが柱の一つになっているために、街なかに学生の姿を目にすることが増えた。

「活動の強化」については、ユマニテ会員企業との連携強化や収益事業の立ち上げなどを挙げていたが、本年度もほとんど進捗していない。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

- ① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業
- ② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業
- ③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業
- ④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業
- ⑤ 中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業
- ⑥ 中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業
- ⑦ 中心市街地公共空地の管理事業
- ⑧ 中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業
- ⑨ 中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及び譲渡事業
- ⑩ 中心市街地の商業の充実を図るために事業
- ⑪ 中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業
- ⑫ その他第3条の目的に達成するために必要な事業

その他の事業

- ① 駐車場業
- ② 不動産仲介業

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (千円)
① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業	街なかかわらばん発行事業 年に6回隔月に発行。市民ライターを起用し、新しい切り口で街なか情報や人の動き、物件情報等を広く知らしめることにより、中心市街地に対する市民の関心を醸成し、街なかへの来訪を促した。発行部数は10,000。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 中心市街地に関わる者 (E) 不特定多数	2,795
	ホームページ運営事業 昨年に引き続き、ホームページ上のフェイスブック表示に対し、細かなフォローを実施した。また、街なかかわらばん版との連携を強化し、アクセス数の向上に努めた。	(A) 通年 (B) 当法人事務所 (C) 1人	(D) 全国のインターネット利用者 (E) 不特定多数	441

	電波媒体による情報発信 ぶんぶんTVの「街なか情報」出演やFM佐賀にイベント情報の告知を依頼する等、広報活動を行った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 佐賀市。コミュニティ FM は旧市街地・小城地区 (E) 不特定多数	808
	① 中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業 (事業費合計)			4,044
②中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業	街なか居住等事業 シェアハウスの管理事業。佐賀大学都市工学系男子学生2名、農学部、都市工学系の女子学生2名、そして社会人女性1名が入居した。また同じ建物1階店頭部分の街づくり拠点施設さが恵比須ステーションを管理。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 来街者 (E) 5名	3,904
	わいわい!!コンテナ2管理運営事業 昨年度に引き続き、「わいわい!!コンテナ2」を「人と人を繋ぐ」「人と仕事を繋ぐ」拠点施設として確立させることを目標に業務に取り組んだ。11月以降はチャレンジコンテナをオランダハウスのカフェとして転用し、貸出す形となった。	(A) 平成29年4月～平成30年3月 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) コンテナ来場者 (E) 41,517人	11,962
	まちなか交流広場管理事業 街なか交流広場(656広場)の指定管理者として施設を管理し、イベント開催等活動促進を図った。利用者の増加を目標にきめ細かな広報活動に取り組み、成果を上げた。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) 広場の利用者及び観客 (E) 51,414人	2,976
	チャレンジハウス事業(回遊性向上委託事業) 肥前さが幕末維新博覧会の開催に伴い、佐賀銀行旧呉服町支店跡がオランダハウスとして利用され、関連施設としてわいわいコンテナのチャレンジハウスを使用することになり、代替施設として656広場前芝生にチャレンジハウスを設営した。	(A) 平成30年2月～30年3月 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) 市民 (E) 不特定数	1,882

	街なか産学官連携支援事業 佐賀大学及び西九州大学による地（知）の拠点事業を効果的に実施するための拠点を設置し、地域貢献の取組施設として活用することを継続して支援した。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) 市民 (E) 不特定多数	4,400
	佐賀商工ビル管理事業 佐賀商工ビルの運営管理をユマニテさがスタッフが一部担うことにより、街づくりの連携強化を図った。	(A) 通年 (B) 白山二丁目 (C) 1人	(D) 市民 (E) 不特定多数	2,896
	② 中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業			28,020
③良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業	共通駐車サービス券事業 中心市街地内の26か所の駐車場と契約し、サービス券登録の商店で買物した客の駐車利便性を向上させる事業。	(A) 通年 (B) 中心市街地 (C) 2人	(D) サービス券利用登録店舗での利用客 (E) 不特定多数	4,012
	③ 良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業			4,012
④中心市街地の整備改善に関する調査研究事業	佐賀市中央大通り再生事業 佐賀市中央大通り再生会議に出席し、協議を重ねた。その結果、「佐賀市中央大通りトータルデザイン」として取りまとめられた。	(A) 平成29年2月25日 (B) 唐人町南部 (C) 2人	(D) 市民 (E) 不特定多数	16
	④ 中心市街地の整備改善に関する調査研究事業			16
⑤中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業	バルーンフェスタサテライトイベント インターナショナル・バルーンフェスタの開催に合わせて、656広場を中心にイベントを実施した。	(A) 平成29年11月1日～平成29年11月5日 (B) 中心市街地 (C) 6名	(D) 来街者 (E) 7,419人	1,374
	BOOK マルシェ佐賀2018事業 本を媒介にした人と人の出会い、本の楽しさ面白さを発見することによる文化の底上げを図った。	(A) 平成29年10月14日、15日 (B) 呉服元町 (C) 3人	(D) 出店者・来店者 (E) 不特定多数	1,413

	ほとめきぶらり旅事業 少人数による街なか再発見の旅プランを2コース各2回、延べ4回実施した。	(A) 平成29年11月11日 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 県内外の応募者 (E) 22人	668
	佐賀北高書道部揮毫会 中心市街地の女将さんで組織する「えびすめ会」との協働事業。全国書道コンクール連覇中の佐賀北高書道部のメンバーが、市民のリクエストを受けて揮毫するコミュニケーションイベントを実施。	(A) 平成29年5月20日 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) 北高書道部及び観客 (E) 250人	220
	佐賀城下ひなまつり賑わいづくりイベント 今年度は49日間の開催となった。各商店企画のイベントのほか656広場では「和楽器演奏」「伝承芸能祭」「おにぎり選手権」「街なか動物園」等を実施した。	(A) 平成30年2月11日～3月31日 (B) 呉服元町、白山 (C) 2人	(D) 来訪者 (E) 54,810人	1,867
	656広場活用事業（キャンプでシエマ） 656広場のさらなる活用を目標に、広場活用企画案を募集。シエマ・シエマ提出の案が採択された。内容は広場を森のような状況にし、キャンプ場で映画を鑑賞するという試み。参加者の満足度の高いイベントとなった。	(A) 平成30年3月4日 (B) 656広場 (C) 2人	(D) 市民 (E) 220人	580
	松原参道まつり事業 肥前さが幕末維新博覧会の関連イベントとして松原参道の芝生広場や656広場を使って、佐賀の偉人パネル展、佐賀城下チャンバラ合戦、ふわふわ遊園地等を実施した。	(A) 平成30年3月17日～3月18日 (B) 松原参道、656広場 (C) 2人	(D) 市民、来街者 (E) 1,442人	7,875
	⑤ 中心市街地の歴史伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業			13,997
⑥中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業	未実施			
	⑥中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業			0

⑦中心市街地公共空地等の管理事業	唐人町緑道管理事業 緑地の清掃管理を行い、地域住民及び来場者に憩いの空間を提供した	(A) 通年 (B) 唐人二丁目 (C) 3人	(D) 地域住民及び緑道利用者 (E) 不特定多数	1,377
	松原参道管理事業 本年度は松原神社門前の北側を景観上及び安全性確保の観点から芝を張り、南北2か所の芝生広場において日常の憩いの場づくり、イベント時の街なか案内所、休憩所として管理した。地元のみちづくり団体等の利用も増加した。	(A) 通年 (B) 新馬場通り パーラー123跡地、宮地商事跡地 (C) 3人	(D) 市民 (E) 不特定多数	4,756
	街なか緑地広場管理業務 旧コンテナ1撤去後の広場の施設管理とイベント企画を担当している。	(A) 通年 (B) 松原二丁目 (C) 1人	(D) 地域住民及び緑地利用者 (E) 不特定多数	965
⑦ 中心市街地公共空地等の管理事業				7,098
⑧中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業	ICカード調査事業 交通系ICカードを活用した中心市街地活性化についての調査研究を行った。ヒアリング及びアンケート調査分析、ICカード読み取り端末の試験導入等。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 地域住民及び緑地利用者 (E) 不特定多数	1,067
	⑧中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業			
⑨中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡事業	未実施			
	⑨中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡事業			
⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業	さが桜マラソンランナーズナイト さが桜マラソンの出走者をもてなすイベント。ゲストを招いてのトークショーや佐賀の特産品が当たるお楽しみ抽選会を開催し、フードコーナーも設置した。	(A) 平成30年3月17日 (B) 呉服元町 (C) 2人	(D) さが桜マラソン出走者及び地域住民 (E) 不特定多数	1,666

	<p>得するまちのゼミナール 商業者が講師となつて、専門知識やプロならではのコツ等を無料で提供する少人数制の講座。商店と消費者のコミュニケーションの質向上を狙ったゼミ。</p>	<p>(A) 講演会：平成 29 年 10 月 6 日、参加者説明会：平成 29 年 11 月 7 日、直前指導会：平成 29 年 12 月 18 日、ゼミ開催：平成 30 年 1 月 22 日～2 月 21 日 (B) 商工会館ビル、中心市街地 (C) 2 人</p>	<p>(D) 地域住民及び来街者 (E) 不特定多数</p>	2,623
	<p>エスプラッツ誕生祭 エスプラッツビルの再開を記念して実施している恒例イベント。佐賀商工ビル南側でははたらく車展示水鉄砲合戦、スイカ割り等。白山いきいきアーケードでは、こども縁日として射的、スーパーボール。メインイベントとして大ビンゴ大会等を実施した。</p>	<p>(A) 平成 28 年 8 月 6 日、7 日 (B) エスプラッツ南側道路、白山いきいき (C) 5 人</p>	<p>(D) 祭参加者、観客 (E) 不特定多数</p>	1,086
	<p>さが街なか図書館 市街地の専門店 16 事業所に対して、当店の専門書をベースにしたミニ図書館を開設。本年度は図書館司書などが本の紹介文を書き、ピピンが取りまとめて FB で発信する等行った。</p>	<p>(A) 通年 (B) 中心市街地全域 (C) 2 人</p>	<p>(D) 来街者 (E) 不特定多数</p>	659
	<p>第 11 回桶の杜手づくり市事業 全国の手づくり作家が集まる手づくりアートフェスタ。第 11 回を迎え、天気にも恵まれ、昨年を超える来客があった。</p>	<p>(A) 平成 30 年 3 月 10 日、11 日 (B) 八幡神社 (C) 7 人</p>	<p>(D) 県内外から出店の 60 店、及び来店者 (E) 2,805 人</p>	1,731
	<p>公募型空き店舗対策事業 年間を通して出店者を募集し、審査を行い、合格者に対して一部改装費補助を行う事業。本年の目標 3 店舗に対し、3 店舗が合格、目標を達成した。</p>	<p>(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2 人</p>	<p>(D) 中心市街地で出店を希望する者 (E) 不特定多数 (審査の結果出店に至った者 3 店舗)</p>	19,467

	<p>商業者育成事業 独立開業を志す起業家に、1年間の実施トレーニングを施し、本格出店の後押しをする事業。本年は3店舗が入店し、3店舗とも中心市街地に出店した。</p>	<p>(A) 通年 (B) 唐人一丁目 (C) 2人</p>	<p>(D) 県内外の新規起業を志す未経験又は経験の浅い商業者 (E) 出店者3店舗</p>	<p>9,654</p>
	<p>あじさい祭り協賛事業</p>	<p>(A) 平成28年6月12日 (B) 白山名店街 (C) 1人</p>	<p>(D) 市民 (E) 500人</p>	<p>51</p>
	<p>佐賀市街なかバル事業 中心市街地の飲食店の食べ歩き・飲み歩きイベント。参加店の新規開拓に寄与するとともに、街なかの活性化を進めることが狙い。本年は56店舗が参加した。</p>	<p>(A) 平成29年11月22日～11月23日 (B) 中心市街地内 (C) 6人</p>	<p>(D) 市民 (E) 1,300人</p>	<p>1,639</p>
	<p>キッズダンスコンテスト 佐賀城下ひな祭り期間中に開催するダンスイベント。ダンス愛好の若者の発表の場を設けることで健全育成と来街者の増加を図った。本年度は19チームが参加した。</p>	<p>(A) 平成30年3月24日 (B) 656広場 (C) 2人</p>	<p>(D) 出場者及び観客 (E) 1000人</p>	<p>293</p>
	<p>街なか招待券事業 インターナショナル・バルーンフェスタ会場に駐車したお客様に対し、中心市街地の佐賀バルーンミュージアム及び大隈重信記念館の入場招待券を配布するほか、佐賀の物産が当たる抽選券を配布する等、市街地の活性化を図った。</p>	<p>(A) 11月1日(水)～11月5日(日) (B) 中心市街地 (C) 2人</p>	<p>(D) 車で会場を訪れる気球大会の観客 (E) 302人(抽選会への参加者数)</p>	<p>1,542</p>

	銀天夜市協賛事業 第 51 回となる中心商店街の夏の夜の風物詩である銀天夜市。6 5 6 広場催事を中心に支援した。	(A) 平成 29 年 7 月 1 日～8 月 5 日の全土曜日 (B) 呉服元町、白山 (C) 2 人	(D) 市民 (E) 出場者及び観客 400 人(656 広場のみ)	300
	えびすビアパーティー 佐賀の恵比須像とえびすビールを関連付けて、市民の関心を中心市街地へ向けさせること、及び参加者同士のコミュニケーションの活発化を図るイベントを実施した。	(A) 平成 29 年 7 月 26 日 (B) 6 5 6 広場 (C) 6 人	(D) 市民 (E) 参加者 600 人	1,049
	さがんビアフェスト 地元飲食店が提供する美味しいおつまみとクラフトビールが味わえるビアガーデンイベント。日本バーテンダー協会佐賀支部が主催。	(A) 平成 29 年 10 月 22 日 : sagan ビアフェスト、10 月 23 日～11 月 25 日 : カクテルウォーク、11 月 26 日 : 佐賀酒の祭典、11 月 26 日 : さがん舞踏会 (B) 6 5 6 広場 他 (C) 1 名	(D) 市民 (E) 参加者 600 人	1,032
	⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業			42,790
⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業	入店誘導促進事業 集客力のある事業所に転貸を行い、中心市街地の賑わいづくりを図った。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2 人	(D) 中心市街地に出店を考える商業者 (E) 転貸者 2 件	1,628
	古賀ビル管理事業 佐賀県が進める「地方創生事業」の一環として昨年度「デジタル・ハリウッド」がオープンした。当法人はオーナーから物件を借り、転貸を実施している。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2 人	(D) 中心市街地に出店を考える商業者及び建物所有者 (E) IT 技術を習得したい不特定多数	2,243
	⑪中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業			3,871

⑫その他第3条の目的を達成するために必要な事業	のまん缶太事業 飲料水の街づくり支援自動販売機を設置し、来街者の利便性向上を図った。本年度はiスクエアビルに新設した。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 市民 (E) 不特定多数の購買者	979
	企業PRツール作成 佐賀市工業振興課より昨年受注したき企業誘致用パンフレットを本年用にブラッシュアップした。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 市民 (E) 不特定多数	333
	本部会計事務費 人件費や租税公課、交際費等NPOの活動に必要な補助的経費の管理。	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 1人	(D) 市民 (E) 不特定多数	3,797
	⑫その他第3条の目的を達成するために必要な事業			5,110

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	支出額 (千円)
① 駐車場業	えびす駐車場事業 駐車場を経営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原一丁目 (C) 2人	20,036
	佐野駐車場事業 駐車場を経営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を特定非営利活動費に充当する	(A) 通年 (B) 松原二丁目 (C) 1人	1,027
	① 駐車場業		21,063
② 不動産仲介事業	未実施		0